

第4回 「まちづくり協議会の活動について」

今年度、町内のまちづくり協議会は、「まちづくり提案書」の提出を目標に、地区内の避難路・避難地の整備を中心に協議を重ねてきました。その中で、ワークショップや話し合いだけではなく、協議会独自の活動を行った地区もありました。

平田地区では、まちづくり協議会について知ってもらふこと、若い世代の参加を増やすことを目的に、熊本大学ましきラボの協力のもと、



■おたがいさま食堂
でのようす(平田)

米や野菜などの食材を持ち寄り「おたがいさま食堂」や「ホタル鑑賞会」を5月に開催しました。

杉堂地区では、住民の人から住宅再建について、「まだ、どうしたら良いか



■宮園地区で行われた緊急車両走行実験のようす



迷っている」「不安だ」という声があり、まちづくり協議会主催で、「住宅再建相談会」を9月に開催しました。

当日は、各種支援制度や融資のこと、資金計画のことなどについて、まちづくり協議会の役員やまちづくりコンサルタント



■住宅再建相談会(杉堂)

などが相談を受けました。その場でわからないことは、後日役場の担当部署に確認をして、疑問を解決していきました。

宮園地区では、8月に熊本市消防局の協力のもと、緊急車両走行実験を実施しました。協議会で避難路について話し合う中で生じた、道路の幅員がどれくらいあれば、ストレッチャーなど機材を出す作業スペースが確保できるのか、路地を曲がることのできるのかなどの疑問を実際に見て確認しました。

来年度以降も、いろいろな活動を計画している協議会もありますので、まち協通信で紹介していきたいと思います。

回復興整備課復興まちづくり係
☎ 289 - 2930



iPhone



Android

メール : mashiki890@gmail.com
地域おこし協力隊 高本 梢

連絡ください。

スマートフォンアプリでは、町外や県外からでも聴くことができますので、皆さまの元気なお声を町内外に届けることも可能です！出演コーナーもありますので、お気軽にご連絡ください。

スマートフォンアプリ「益城災害FM」と検索いただくか、QRコード(末尾に記載)からダウンロードしてください。ラジオ周波数は89.0メガヘルツです。

4月には震災から2年を迎えるということもあり、番組のあり方も当初から少しずつ変化してきました。着任してからこれまで試行錯誤しているところですが、まだ、お聴きになったことのない人にも、ぜひ聴いてもらいたいと思っています。



今月は、お知らせです！

ましきさいがい

エフエムは、震災

直後から皆さまに町

の情報を毎日、ボラン

ティアのご協力をいただき

ながら放送しています。